

## 受講生募集

文化庁 2020 年度日本語教育人材養成・研修

カリキュラム等開発事業

主催：公益社団法人国際日本語普及協会 AJALT

後援：国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所  
公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部 (RHQ)



60 単位時間

# 難民のための日本語教育 初任教師養成 オンライン研修講座

定員に達したため受講・聴講とも受付を終了しました

日本にインドシナ難民が漂着してから 40 年余、AJALT の教師は以来、一貫して難民の方々への日本語教育に携わってきました。この講座では、地域に広がる「難民等の背景をもつ方々」への日本語教育・支援について、受講者の皆さんとともに学び、考え、実践に繋げていきます。

第 2 回となる今回は Zoom によるオンライン講座ですので、遠方の方もぜひご参加ください。

■内容：前半の理解編は、主に難民政策、難民教育・支援の最前線にいる専門家、実践家、難民自身による講義やワークショップを通し、難民への知識と理解、共感力を育みます。

後半の実践編は、難民への日本語教育を長年担当してきた教師の下での演習、AJALT が実施している難民を中心とした生活者のための日本語教室、地域の難民のための教室などの実践例紹介や参加等を通し、実践力を養います。なお、カリキュラム内容は『日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)』決定版における「難民等に対する日本語教師【初任】研修における教育内容・目安」に準じます。

[http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/kokugo/kokugo\\_70/pdf/r1414272\\_04.pdf](http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/kokugo/kokugo_70/pdf/r1414272_04.pdf)

■日時：全 15 回

(2020 年 10 月 28 日～2021 年 2 月 17 日) 毎週水曜日 18 時～21 時 10 分(休憩 10 分含)

※12 月 30 日、1 月 6 日は休み ※1 単位時間=45 分

■会場：Zoom によるオンライン講座

■受講料：無料 ※修了者には修了証をお渡しします。

■定員： 20 名 ※聴講も可能ですので、ご相談ください。

■申し込み期限：10 月 23 日(金) ※定員に達した場合は締め切らせていただきます。

■対象：次のいずれかに該当する方

- ①日本語教育能力検定試験合格者
- ②大学の日本語教師養成課程修了者/修了予定者
- ③日本語教師養成講座 420 時間修了者
- ④ ①②③と同等の能力を有する方

■申し込み方法

AJALT ホームページのお問い合わせフォーム <https://www.ajalt.org/contact/> を開き、必要事項をご記入のうえ、ご送信ください。

\*件名は「難民日本語研修申し込み」としてください。

\*お問い合わせ内容には以下を必ずご記入ください。

1. お名前(ふりがなも)
2. ご所属
3. お電話番号
4. ご住所
5. メールアドレス
6. 本講座を受講する動機
7. もしあれば日本語教育・支援歴(対象、年数など)

※ご記入いただいた情報は無断で本講座以外の目的には使用いたしません。

■スケジュール 毎週水曜日 18:00~21:10 (休憩 10分)

理解編		18:00~19:30	19:40~21:10
1	10/28	日本の難民受け入れとこれから	世界の難民と UNHCR の役割
	※	磯 正人 難民事業本部 (RHQ) 本部長	川内 敏月 UNHCR 駐日事務所副代表
2	11/4	インドシナ難民への日本語教育	当事者の声から1 インドシナ難民として
		関口 明子 AJALT/RHQ 日本語教育参与	トラン フィ ハン 有料老人ホーム 介護士
3	11/11	ライフステージと日本語教育 1 移動とライフステージ	異文化受容と適応-難民と受入社会双方の観点から
		春原 憲一郎 京都日本語学校校長	松尾 慎 東京女子大学教授
4	11/18	条約難民・第三国定住難民への日本語教育	当事者の声から2 条約難民として
		小瀧 雅子 AJALT/前 RHQ 日本語教育監督者	カディザ ベゴム (株)ファストリテイリング
5	11/25	中国帰国者への日本語教育	当事者の声から3 中国帰国者として
		小林 悦夫 中国残留孤児援護基金理事	難波 秀江 中国残留孤児援護基金
6	12/2	世界の難民の現状	難民のメンタルヘルス
		橋本 直子 一橋大学准教授/元国連職員	阿部 裕 四谷ゆいクリニック院長
7	12/9	母語と日本語の狭間で一言語習得と喪失	当事者の声から4-難民等の社会参加と母語教育
		野山 広 国立国語研究所准教授	マリップ センブ NPO 法人 PEACE 理事長
8	12/16	ライフステージと日本語教育 2 就労現場から	ライフステージと日本語教育 3 教育現場から
		伴 めぐみ (株)ファストリテイリング 山田 裕亮 (株)パナマシューズ取締役社長	柴山 智帆 AJALT/RHQ 日本語教育相談員
実践編		18:00~19:30	19:40~21:10
	12/23	ライフステージと日本語教育 4 夜間中学から	成人への日本語教育と教室活動
		関本保孝 基礎教育保障学会事務局次長/元夜間中学校教諭 ソーベントウ 創価大学 夜間中学卒業生	宮下 しのぶ AJALT/RHQ 主任講師
10	1/13	教材・リソースの使い方	非識字者への日本語教育
		有澤 田鶴子 RHQ 担任講師	内藤 真知子 AJALT/元 RHQ 日本語教育監督者
11	1/20	年少者への日本語教育と教室活動	プロソディ(詩と歌による学び)
		大久保 美子 AJALT/RHQ 子どもクラス担任講師	内藤 真知子 AJALT/元 RHQ 日本語教育監督者
12	1/27	難民のための生活日本語教室 1	難民のための生活日本語教室 2
		担当講師	担当講師
13	2/3	オンラインによる生活日本語の学習・支援	難民のための生活日本語教室 3
		AJALT/RHQ 担当講師	担当講師
14	2/10	難民クラスでの自己評価と定住後の評価	難民のための生活日本語教室 4
		新野 佳子 AJALT/RHQ 担任講師(評価担当)	担当講師
15	2/17	私の難民支援 受講者の発表	振り返りと課題の共有
		担当講師	担当講師

※スケジュール、受講内容、講師については変更の場合がありますので、ご了承下さい。

※第1回 受講者の皆様には17時30分より18時までオリエンテーションを行いますので、ご出席下さい。

※第12回 生活日本語教室紹介については日時が変わる場合がありますので、ご了承下さい。

お問い合わせ TEL: 03-3459-9620 e-mail: [kaiinkenshu@ajalt.or.jp](mailto:kaiinkenshu@ajalt.or.jp) 担当: 小形/宮下/小瀧